

5月の園だより

令和4年4月27日
杉並区立西荻北子供園
園長 石床 美穂子

「親子で遊ぼう」

園長 石床 美穂子

コロナ禍で、ここ2年行うことができなかった「親子で遊ぼう」を今年度は年間計画に入れ、4月16日に年中くま組・年長ぞう組、23日に年少うさぎ組が行いました。検温・消毒・マスク着用等コロナウイルスの感染拡大防止の対策にご協力いただき、各家庭1名の参加とし密にならないように内容を工夫して行いました。

「親子で遊ぼう」は、子どもたちにとっては、お父さん、お母さんと一緒に遊ぶ楽しいひとときとなるように・・・また、保護者の方には、親子で一緒に遊ぶことで、園での子どもたちの様子を知ったり、親子で遊ぶ楽しさを感じたりできるように・・・と計画しています。さらに、家族だけでなく、学級の親子みんなの親睦を図る機会にもしていきたいと考えています。

ぞう組は、園庭で「しっぽとり」をしました。ぞう組の子どもたちは、くま組の2学期後半から、自分で遊ぶ遊びや学級全体の活動で「しっぽとり」を楽しんできました。担任は、保護者の方に子どもたちが夢中になっている「しっぽとり」の様子を見たり、子どもたちと一緒に体験していただいたりしたいと考えました。

まずは、親子で1対1の対戦です。丸いフープを置いて向き合い、その周りを動きながらお互いのしっぽをとります。子どもたちは、日ごろの力を発揮してよく動きます。でも、お父さんお母さんも子どもに負けていません。右に左に動いて、手を伸ばししっぽを取ろうとして互いに譲らず、親子対決を楽しんでいました。

子ども同士のチーム戦では、保護者の方は、子どもがする様子を見て声援を送っていました。試合後には、あたたかい大きな拍手があがり、頑張った子どもたちは、とても嬉しそうでした。また、親同士のチーム戦では、大人も思い切り動いている姿に子どもたちも真剣なまなざしで、応援に力がはっていました。

後日いただいたアンケートでは、「親子の1対1対決で、本気でしっぽを取りに来る子どもの姿とそれに本気で答える自分とで夢中になって楽しかったです。」「子どもの体力にびっくりしました。」「しっぽとりを実際にやってみて難しさを理解できたので、より具体的にほめることができました。」「勝って喜ぶ姿、負けてくやしがる姿の両方を見ることができ、心の成長も感じました。」「今度公園で、家族みんなで練習しようとして約束をしています。」等のたくさんの感想をいただきました。

一緒にすることで、子どもたちが何を楽しいと感じて夢中になっているのかが分かったり、実際に動いてみるとしっぽを取る難しさを感じたりしたことで、「楽しかったね」「しっぽをとれてうれしかったね。」「よく見てとっていたのね。」等の共感的な言葉のやりとりや関わりに繋がったようでした。

くま組・うさぎ組は、親子のふれあい遊びや体操をしました。お父さん、お母さんと体を動かして遊ぶ中で、いろいろな体の動きを体験したり、お父さんやお母さんとのスキンシップのあたたかさを感じたりして子どもたちは、とても楽しんでいました。

いろいろな光景が見られましたが、なんといっても子どもと大人の笑顔が素敵でした。みんなの笑い声が響き、嬉しい一日でした。このような機会を大切に、西荻北子供園の子どもも大人もみんなでつながりを持ち、関わりを深めていきたいと感じました。次回は、9月です。楽しみにしてください。

子どもたちの様子と今月のねらい

3歳児 うさぎ組

環境に少しずつ慣れてきた姿が見られ、登園時にテラスにいる担任に駆け寄る姿が見られるようになりました。保育者に親しみの気持ちが出てきて、手を引いたり一緒に遊ぼうとしたりしています。歓迎会で年長組からもらった蝶々のペープサートは、チョウチョの曲に合わせて動かして、保育室や園庭で持って遊ぶことを楽しみました。今月は、戸外で体を動かす気持ちよさを感じてたくさん体を動かして遊んでいきます。

<今月のねらい>

○保育者と戸外で体を動かして遊んだり、やりたい遊びをしたりすることを楽しむ。

○身近な春の自然に興味をもつ。

○身の回りのことを自分でやってみようとする。

<家庭との連携>

連休明けには、登園時不安になったり、生活リズムの乱れから不機嫌になったりするお子さんがいるかもしれません。気になる姿がある際は、お気軽に担任までお声がけください。

これから暑さを感じる陽気になり、水を使った遊びも増えていきます。汗をかいたときや汚れたときには着替えをしますので、脱ぎ着のしやすい洋服を着用させてください。また、心配な方は、多めに着替えのご用意をお願いします。

4歳児 くま組

くま組での生活に慣れてきて、少しずつやりたい遊びを見つけて遊ぶことを楽しむ姿が見られるようになってきました。「先生、一緒に遊ぼう!」「先生、来て!」と新しい担任に親しみの気持ちを持ち、関わって遊ぼうとする姿も増えています。

今月も、保育者と安心して関わる中で、自分でやりたい遊びが見つけられるように援助していきます。また、戸外で保育者と一緒に走ったり、水や泥で遊んだりし、開放感を味わえるようにしていきます。

<今月のねらい>

○やりたい遊びを見つけて、自分なりに遊ぶことを楽しむ。

○戸外で保育者や友達と体を動かして遊ぶ心地よさを感じる。

○身支度や着替えなど身の回りのことを自分でしようとする。

<家庭との連携>

くま組になってはりきって生活していた子どもたちにも、疲れが見えてくる頃かと思います。連休では、ご家庭で楽しいことをしたり、ゆったりと過ごしたりして、また元気に登園してくださいね。

暑い日には、着替えをする機会が増えていきます。自分で着替えをする経験が積み重ねられるように、着脱のしやすい衣服の用意をお願いします。

5歳児 そう組

・ そう組は進級の嬉しさを感じながら、遊びや行事に張り切って取り組んでいます。そして、自分たちが取り組んだことで、みんなのためになったり（当番活動）、小さい子が喜んでくれたり（歓迎会）することがわかり、その嬉しさも感じています。遊びでは、自分の思いを出したり相手の思いを聞いたりしながら遊びを進めていくことの楽しさを感じています。

今月は、2～3人の友達と思いを出し合いながら遊ぶことを楽しんだり、気持ちの良い気候の中で体を動かして遊ぶことを楽しんだりしていきます。

<今月のねらい>

○自分の思いを伝えたり、友達の思いを聞こうとしたりしながら、生活や遊びを自分たちで進めようとする。

○戸外で十分に体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。

○身近な自然の変化や動植物の生長に興味や関心をもつ。

<家庭との連携>

できることが増えてきて、「自分たちでやる！」と張り切った姿を見させている子どもたちです。ご家庭でもお手伝いをしたり、箸の練習を進めてみたり…と、できることを増やしていけるとさらなる自信につながっていきます。連休明けからは、お弁当の包み方が風呂敷包みへと変わります。子供園で自信をもってできるよう、ご家庭で練習をお願いいたします。

ほしグループ 長時間保育

うさぎ組は、少しずつ子供園での生活に慣れて、安心して保育者と一緒に遊んだり、自分のやりたい遊びを見つけて楽しんだりする姿が見られるようになってきています。くま組は、おやつをうさぎ組と一緒に部屋で食べる中で、「くま組だから自分でできる。」と自分から進んで取り組む姿があります。そう組は新しく長時間になった友達に身支度のことや生活の流れ等を教えている姿が見られています。人数が増えたことで、今までとは違う友達と関わって遊ぶ楽しさも感じています。